

2017年5月吉日

ユニシス研究会 九州支部
会員各位

ユニシス研究会 九州支部事務局

2017年度 研究活動メンバー募集

拝啓 日頃よりユニシス研究会活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

ユニシス研究会では、「**グループ研究**」活動形式により進める活動を実施しております。日常業務の中で抱えている課題やこれからのITを駆使した新たな働き方、AI活用などをテーマに会員同士や日本ユニシスグループ社員との情報・意見交換の場、また、相互研鑽の場として推進しています。

敬具

1. 研究テーマ：

ご参加者でテーマを決めていただきます。

ご参考としまして、関東支部での募集活動テーマを同封させていただきます。

2. 参加資格：ユニシス研究会会員企業(職種に関わらずご参加頂けます)

3. 参加費用：

本年度研究活動費として1企業あたり、20,000円を申し受けます。

* 参加人数に係わらず、1企業あたり20,000円となります。

* 参加メンバー確定後、「連絡責任者」へ参加費用をご請求させていただきます。請求書送付先が連絡責任者と異なる場合は申し込みの際に連絡欄にご記入願います。
活動のための移動交通費、宿泊などの経費は参加者の負担とさせていただきます。

4. 研究活動の運営について：

グループ活動のチームは原則定員5名以上10名以下として編成します。

主体はご参加いただく皆様です。

基本的にはグループに参加された方の自主活動です。

日本ユニシスグループもアドバイザーとして皆様の活動を支援いたします。

5. 活動期間と会合回数：

本年5月より翌年2月まで、日中の通常業務時間内でグループ単位にて調整しますが、15回～20回程度の会合を見込みます。(2016年度は20回実施)

< 1年間の主な活動スケジュール >

4月下旬頃～ 研究活動 参加者募集開始

会員企業様へ 2017年度の研究活動メンバー募集のご案内を開始します。

5月24日(水) 発足式(第1回会合) 日本ユニシス株式会社 九州支社

ご参加の皆様、事務局、ユニシスグループ社員(アドバイザー)の顔合わせ。
役割分担や今後の会合の持ち方など、グループ内で決めて頂きます。
終了後、懇親会を予定しています。

9月1日(金)～2日(土) サマースクール(対象:リーダー、サブリーダー)静岡県三島市

サマースクールまでに進めている内容や活動状況を、リーダーとサブリーダー
が発表します。他グループとの情報共有や交流が目的です。
詳細は別途ご案内します。

1月中旬 九州支部発表会 日本ユニシス株式会社 九州支社

報告書提出前に、また全国発表会に向けて、九州支部内で発表会を行います。
九州支部幹事をはじめ、以前に研究活動へ参加された会員やテーマに
ご興味をお持ちの会員にご参加頂き、質問や感想を受けて、報告書や発表
資料をブラッシュアップします。

1月29日(月) 活動報告書提出期限

研究活動の成果を報告書形式で提出します。研究活動運営委員が、構成力
や表現力、汎用性や独創性などを考慮して査読・審査を行います。
3月に行われる全国発表会の評価点と合わせて各賞が決まります。

3月9日(金) 全国発表会 東京:有明ワシントンホテル

10ヶ月間の成果発表の日で、全国の約30グループが一斉に集合します。
活動報告書と発表内容、質疑応答の内容が審査委員によって評価され、各
賞が決定します。
特に優れた成果を残したグループには『エッカート賞』候補に推薦されます。

6. 発足式：2017年5月24日(水)を予定しています。

7. 申込方法：添付の参加申込書を FAX、または E-mail にてお申込下さい。

締め切りは 2017年5月18日(木)とさせていただきます。

8. お問い合わせ先：

九州支部事務局 高木 佐知子	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-1-1 博多新三井ビル 日本ユニシス(株)九州支社内	電話：092-517-6701 FAX：092-471-8044 E-Mail： juaa-kyushu-info@ml.unisys.co.jp
-------------------	---	---

9. その他：

ご報告(発表資料含む)いただいた研究活動成果(研究活動活動報告書、プレゼン資料等)の著作権は著者に帰属いたしますが、著者はユニシス研究会が主幹する「機関誌など刊行物掲載」、「WEB サイトへの掲載」など、ユニシス研究会としての研究活動成果配布に係わる一切の権利(個人名・会社名・所属先の公開を含む)をユニシス研究会に無償で許諾するものとします。

* 会員様のご担当者の変更手続きが間に合わずに以前に登録された方へお送りしてしまう場合がございますが予めご容赦いただきますようお願いいたします。

10. 昨年度の参加者の感想



2016年度は『チャレンジ賞』を受賞しました！

テーマ：「ICT による高齢化の見守り・健康維持で介護費用の削減をはかる」
～ 家の中のIoT化による症状・問題の早期発見～

物事をゼロから考えることが出来る良い機会だった。

普段の業務では出来ない体験と異業種の人と出会うことが出来た。

職種や年齢の違う人たちの意見をまとめる経験が積めた。